

# 緊急事態宣言の延長に対する一般社団法人日本クライミングジム連盟の提言

日本全国で緊急事態宣言の5月31日までの延長が決まりました。

現在、国内の大半のクライミングジムが休業をしている状態です。この状況が長期化すれば多くのクライミングジムが廃業・倒産することになるでしょう。

しかし今、営業を再開したとしても多くの集客は望めませんし、またそれによるジムのイメージダウン・さらにはクライミングジム業界全体へのイメージダウンのリスクは避けられません。

そこで（一社）日本クライミングジム連盟は国へ陳情書（家賃80%の補填）を提出すべく署名活動及び営業自粛の影響を把握するためのアンケートを開始いたしました。5月中旬に署名をまとめ国に提出する予定です。

このような状況の中、（一社）日本クライミングジム連盟は全国のクライミングジムに次の提言をいたします。

1. 2020年5月31日までの期間、都道府県より運動施設の休業要請が出ている地域のクライミングジムには休業を求める
2. 緊急事態宣言延長期間中に政府に対し陳情書を提出する
3. 上記陳情書による家賃補助、もしくは政府・都道府県による追加助成が出ない・もしくは不十分と判断した場合は、ジム営業をしかるべきタイミング（今後の状況を見て理事会で決定）で再開する。
4. 再開にあたっては「時期」、「新型コロナウイルス対策」（別紙の「WITH コロナの状況下でのクライミングジム営業のガイダンス」に沿った対策）を可能な限りクライミングジム同士で歩調を合わせて行う。

ジム同士が歩調を合わせることで、ユーザーであるクライマーの皆さんの理解、世論の同意、国への抗議活動としてのパワーが生まれます。

同時に現在が進んでいるクライミングジムへのクラウドファンディングの募金（公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会の協力予定）から、この活動に賛同・参加する日本クライミングジム連盟加盟ジムへの補填を実施する予定です。

是非ともこの提案に賛同いただき、一緒に行動することで力を合わせてこの状況を乗り切っていければと思います。また連盟では未加盟のクライミングジムへの連盟加盟も歓迎しています。詳しくは下記連盟ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jcga.co/>

## WITH コロナの状況下でのクライミングジム営業のガイダンス

集団免疫やワクチン、治療薬が出てくるまでは相当な時間がかかると予想されます。クライミングジムは営業を再開するに当たって、当面の間 WITH コロナを前提としたクライミングジム運営をしていく必要があるでしょう。

ここでは WITH コロナでのジム運営において、お客様へお願いすること、ジムが開店までに準備すること、スタッフがやるべきことをそれぞれまとめます。

お客様へお願いすること、のガイダンス方法としては次の3つの大きなポイントに分けて案内を出し、理解を求めていくことが重要になります。

- 感染者はジムに入らない
- 飛沫感染の防止
- 接触感染の防止

### お客様へお願いすること

#### • 感染者はジムに入らない

1. ジムに来る前には検温をし、平熱であることを確認してからお越しください。忘れた場合は入場時に検温ください。

#### • 飛沫感染の防止

1. 施設内にいる人全ての方にマスクの着用をお願いします。マスクを持参の上お越しください。
2. 施設内でのソーシャルディスタンス 2m の確保をお願いします。
3. 近い距離でしゃべらない。また気合の発声など大声は出さないようお願いします。
4. 施設内での食事はご遠慮いただいております。
5. 飲み物を飲む際は幾つかの注意点があります。
  - ① 飲む際は呼吸が落ち着いているときに飲む
  - ② 飲み終わったら蓋をして、速やかにマスクし、自分のバッグ等にしまう
  - ③ 缶の飲み物は飲み口が露出したままになってしまうのでジム内では禁止

#### • 接触感染の防止

1. 手洗い or アルコール消毒の徹底を次の場面をお願いします
  - ① 入退場時
  - ② トイレ退出時
  - ③ 顔を触る前
  - ④ 飲み物を飲む前

## クライミングジムの営業再開までに準備すること

### 1. 準備するもの（※印は推奨事項）

- ① マスク スタッフ用およびお客様への販売用
- ② せっけん or アルコール消毒液
- ③ 体温計※
- ④ トイレ掃除用のマスク・フェースガード・ゴーグル・グローブ・防護服（雨がっぱ）※
- ⑤ 清掃道具用の消毒液
- ⑥ 受付前のウィルスガード※
- ⑦ キャッシュレスの支払いができる設備※
- ⑧ 業務用空気清浄機※

### 2. 入場制限・時間制限

ソーシャルディスタンス 2mを確保するにはクライミングエリア 100㎡当たりの利用制限数は 8～12名、100坪で 30～45名になります。（あくまで有効待機エリアでのソーシャルディスタンスに配慮した人数であること）

### 3. ルートや課題への配慮

隣接するラインが近づき過ぎないようにセット。

グレードも調整することにより、不特定多数の人が集まりにくいバラけるレイアウトとする。

## スタッフがやるべきこと

### ・出勤前

1. 朝起きたら自宅でまず検温。平熱でない場合は速やかにオーナーへ連絡しシフトを変わってもらおう。

### ・受付接客業務（※印は推奨事項）

1. 勤務中はマスクを常に着用する。
2. ご利用者の方に受付にて検温し、37.3～37.5度以上の方のご利用をお断りする。
3. マスクをしていないお客様はジムに入場させない。
4. ご利用者の方に受付前に手洗い or アルコール消毒してもらおう。
5. キャッシュレス決済の推進※ 基本的に現金のやりとりを行わない。PayPay等のスマホ決済のように、ご利用者側で支払い手続きが完了する方法を推奨する。クレジットカード払いもスタッフがカードを扱う形は避ける。
6. マスクを持参しない人のためにマスクの販売。※
7. 密閉：換気を頻繁に行う。1時間中10分は換気時間を設ける。

## • 清掃業務

1. 施設内掃除・トイレ掃除の注意点をしっかりと認識して行なう。

(参考 URL)

<https://www.airbnb.jp/resources/hosting-homes/a/cleaning-guidelines-to-help-prevent-the-spread-of-covid-19-163>

2. 清掃道具を脱いだらその道具をしっかりと消毒し、最後に自分の手洗い or アルコール消毒をしっかりと行う。

3. トイレや手洗い場にタオルを常設しない。ジェットタオルは使用禁止とする。